



川本成プロデュース・非劇場型演劇「TAP」第2弾は、 本物のスポーツジム。新作『A TRIAL』上演決定

「あなたがいれば、そこが劇場」実際に営業する新宿・歌舞伎町のフィットネスジムを舞台に、前代未聞の“ジム演劇”が始動

川本成がプロデュースする非劇場型演劇プロジェクト「TAP (THEATER ANYWHERE PROJECT)」の第2弾公演として、新作『A TRIAL』を2026年10月16日(金)に上演することが決定しました。今回、劇場となるのは、実際に営業している「スポーツクラブ&サウナスパルネサンス 新宿24」です。



TAPメインビジュアル「あなたがいたら、そこが劇場」

「あなたがいれば、そこが劇場」

TAP（THEATER ANYWHERE PROJECT）は、2026年3月にスタートした「非劇場型演劇プロジェクト」です。

劇場ではない場所で、その場所だからこそ生まれる物語を上演する。

食堂、店、施設、仕事場。世の中にあるあらゆる場所も、そこに人がいて、人と人との関係があれば、演劇になり、劇場になる。そんな発想から、TAPは生まれました。

TAPには20名以上のメンバーが参加。2026年3月のスタート以来、上演ごとにメンバーの中から出演者を組み合わせ、配役を入れ替えながら公演を重ね、作品を育ててきました。

第1弾は、浅草に実在するマグロ食堂

第1弾では、浅草に実在するマグロ食堂をそのまま舞台に、『本日、特上なしにつき』を上演。

劇場に食堂のセットを作るのではなく、実際に営業している食堂そのものを舞台に、月2回のペースで公演を重ねてきました。

演出を川本成、脚本を鈴木美波（PAPALUWA）が担当。

さらに上演後には、作品のタイトルにも登場する「特上マグロ丼」を実際に味わうことのできるランチを実施しました。

物語を観たその場所で、そのまま食事をする。演劇と現実の境界線が少しだけ曖昧になるような体験を、多くのお客様に楽しんでいただきました。

食堂の次に選んだ「劇場」は、スポーツジム

そして今回、TAPが次なる「劇場」に選んだのは、スポーツジムです。

新宿・歌舞伎町に実在する「スポーツクラブ&サウナスパルネサンス 新宿24」を舞台に、新作『A TRIAL』を上演します。

もちろん、劇場にスポーツジムのセットを組むわけではありません。トレーニングマシンが並び、普段から人々が汗を流している、本物のスポーツジムそのものが、今回の劇場になります。

『A TRIAL』作品紹介

新宿・歌舞伎町のフィットネスジム。

お互いの本名も仕事も知らないまま、毎週同じ時間に顔を合わせる人たちがいる。

特別に仲が良くなくても、久しぶりに会えば「お久しぶり」と声をかけ、いつもの人が来ていなければ「どうしたんだろう」と無性に気になる。

そんな友人とも知人とも言い切れない関係を少し越えて生まれる、ある金曜夜の出来事。実際のスポーツジムを舞台に繰り広げる、前代未聞のジム演劇。

TAPがお送りする非劇場型群像劇、第二弾。

その場所にあるものから、演劇を立ち上げる

その場所にすでに存在している人間関係や空気、時間から、演劇を立ち上げる。それが、TAPの目指す「非劇場型演劇」です。

食堂の次は、スポーツジム。あなたがいれば、そこが劇場。TAP第2弾『A TRIAL』、始動します。

公演概要

タイトル	『A TRIAL』
日程	2026年10月16日（金）18:30開場 / 19:00開演
会場	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス 新宿24
脚本	中川真希
演出	川本成
出演	川本成 / 松川貴弘 / 田邊謙 / 雛形羽衣 / 青木萌 / 長田まひる / 渡邊美久
料金	4,500円
チケット受付開始	2026年10月1日（木）12:00
チケット予約フォーム	https://r7ticket.jp/228a1a0cc9975eb/
TAP公式X	@theateraproject https://x.com/theateraproject
会場公式サイト	https://www.sportsoasis.co.jp/sh53/